

「学校のあり方検討委員会」を立ち上げ 検討を開始しました！



町内の児童生徒数は年々減少し、今後更なる減少が見込まれています。子どもたちが集団の中で多様な考えに触れ、お互いに切磋琢磨しながら学習意欲を高め、心と身体を健やかに成長させるための学校環境を今後どのようにしていくのかは、喫緊の課題です。そのため、11月27日（木）に本委員会を立ち上げ、子どもたちが学ぶ理想的な教育環境をソフト・ハード両面においてゼロベースで議論していきます。

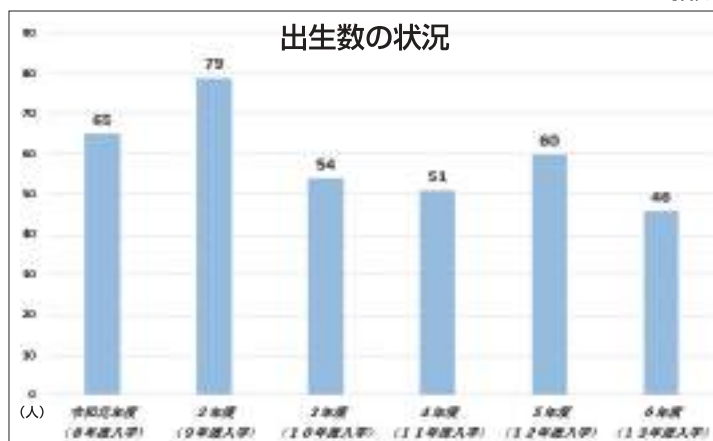
今回は、児童生徒数・出生数の状況とそこから推測する児童生徒数の推移についてお示しします！



○3ヶ年ごとのデータ値を示しています

○R10、R13年度の値は、現在の児童生徒数と出生数を基礎データとした見込み値です

○R17、R22年度の値は、これまでの児童生徒数と出生数を基礎データとし統計処理（指数回帰）した推計値です
※指数回帰とは、指数関数で予測する統計的手法です



「大洗町立学校のあり方検討委員会」は、学識経験者、議会の代表、小中学校長・PTA会長、地域の代表、教育委員および役場の代表合わせて26名で組織されています。

検討委員会の議論の様子は、随時、広報おおあらい、町ホームページ、町公式LINE等でお知らせします！



児童生徒数の推移を見る上で、その根拠となるのが出生数の推移です。

（参考）

1学級当たりの児童生徒数の基準は、小学校で35人学級です。中学校も令和8年度から1年生が35人学級となり、令和10年度には全ての学年で35人学級になります。



第1回あり方検討委員会の様子

今後、アンケートや懇談会の実施など、多くの皆さんからご意見を頂戴し、未来の学校の姿を描いていきます！

問合せ／学校教育課（内線371）